

(その3)

## 特定工程に係る工事監理における確認報告書

### 工事監理における確認状況の報告（鉄筋コンクリート造編）

事項	確認を行った部位、材料の種類等	照合内容	照合方法			照合結果	備考
			A	B	C		
支持地盤の種類・地耐力	地盤	1 支持地盤の種類( ) 地耐力( N/m <sup>2</sup> ) 確認方法( 目視 標準貫入試験 載荷試験 その他)				適・不適	
主要構造部及び主要構造部以外の構造耐力上主要な部分に用いる材料(接合材料を含む)の種類、品質、形状及び寸法並びにそれら材料の接合状況、接合部分の形状等	基礎	2 基礎の材質、部材寸法等は設計図書どおりか。 3 基礎に耐力上問題となる不良箇所がないか。 4 杭の工法、材質、径、本数、長さ及び位置等は設計図書どおりか。				適・その他( ) 適・不適 適・その他( )	
	柱	5 柱の断面寸法は設計図書どおりか。 6 必要かぶり厚さは確保されているか。 主筋 7 主筋の材質、径、本数、配置(ピッチ)等は設計図書どおりか。 8 主筋の定着、継手長さは必要長さが確保されているか、又継手位置は適正か。 9 ガス圧接継手部分は適正か。 10 主筋の出隅部分の末端フックは適正か。 帯筋 11 帯筋の材質、径、本数、形状、配置(ピッチ)等は設計図書どおりか。 12 帯筋のフック形状、あそび及び結束の状態は適正か。				適・その他( ) 適・不適  適・その他( ) 適・不適 適・不適 適・不適  適・その他( ) 適・不適	
	梁	13 はりの断面寸法は設計図書どおりか。 14 必要かぶり厚さは確保されているか。 15 貫通孔位置、補強方法は適正か。 主筋 16 主筋の材質、径、本数、配置(ピッチ)等は設計図書どおりか。 17 主筋の定着、継手長さは必要長さが確保されているか、又継手位置は適正か。 18 ガス圧接継手部分は適正か。 19 主筋の出隅部分の末端フックは適正か。 あばら筋 20 あばら筋の材質、径、本数、配置(ピッチ)等は設計図書どおりか。 21 あばら筋のフック形状、あそび及び結束の状態は適正か。				適・その他( ) 適・不適 適・不適  適・その他( ) 適・不適 適・不適 適・不適  適・その他( ) 適・不適	
	壁	22 壁の断面寸法は設計図書どおりか。 23 必要かぶり厚さは確保されているか。 24 開口部の補強は設計図書どおりか。 25 スリット(完全、部分)がある場合の位置、形状は設計図書どおりか。 26 壁筋の材質、径、本数、配置(ピッチ)等は設計図書どおりか。 27 壁筋の定着、継手長さは必要長さが確保されているか、又継手位置は適正か。				適・その他( ) 適・不適 適・不適 適・その他( ) 適・その他( ) 適・不適	
	床版	28 床版の断面寸法は設計図書どおりか。 29 必要かぶり厚さは確保されているか。 30 開口部、設備配管設置部等の補強は適正か。 31 鉄筋の材質、径、本数、配置(ピッチ)及びスラブ厚さ等は設計図書どおりか。 32 定着、継手長さは必要長さが確保されているか、又継手位置は適正か。				適・その他( ) 適・不適 適・不適 適・その他( )  適・不適	
	その他	上記並びにその他設計図書に指定されているものと変更はないか。				変更無し 変更有り	

[ 照合方法 A:実物の目視 B:実物の目視 C:施工関連図書の確認 ]

工事現場での表示	確認表示板	表示の有無について				適・不適	
敷地の形状、高さ、衛生及び安全	接道の長さ 道路後退 高低差	2m ( )m 後退(有・無)*有の場合(後退済・後退未完) 変更(有・無)				適・不適 適・不適 適・不適	
建築物の各部分の位置、形状及び大きさ	建物配置 壁面後退 建物高さ	変更(有・無) 地区計画(有・無) 高度地区(有・無) 絶対高さ 道路斜線 隣地斜線 北側斜線				適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適 適・不適	
構造耐力上主要な部分の防 腐、防蟻措置 及び状況							
天井及び壁の 室内に面する 部分に係る仕 上げの材料の 種別及び厚さ							
開口部に設け る建具の種類 及び大きさ							
建築設備に用 いる材料の種 類並びにその 照合した内容、構造及び 施工状況(区 画貫通部の処 理状況を含 む)							
照合を行った設計図書	申請図面 構造計算書 公庫仕様書 その他の図書( )						
設計図書の内容について 設計者に確認した事項							
建築主に対して行った 報告の内容							
備 考							

【記入上の注意】

- 「照合内容」欄に該当しない項目がある場合は、=線で消してください。
- 「照合結果」欄が「その他」となる場合は、その仕様、寸法等を( )内に記入してください。
- 接合状況のうち、鉄筋の圧接部分に係る内部欠陥の検査、強度試験等の確認については、当該部分に係る検査を行った者の氏名及び資格並びに当該検査に係るサンプル数及びその結果について記載してください。
- 材料のうち、コンクリートについては、四週圧縮強度、塩化物量、アルカリ骨材反応等の試験又は検査を行った者、試験等に係るサンプル数及び試験等の結果について記載してください。
- 欄は、記入しないでください。